# 関西広域産業共創プラットフォーム News Letter



Vol. 14

2024(令和6)年 10月末発行

#### ●産業技術支援フェア in KANSAI 2024 開催のご案内

(国研) 産業技術総合研究所や関西広域連合域内等の12の公的研究機関が一堂に出展し、各機関の重要シーズ(研究成果)やトピックスについて分かりやすく紹介する「産業技術支援フェア in KANSAI 2024」を開催します。

最新技術のパネル展示と講演会・ミニシンポジウムを行います。ぜひご参加ください。

【日 時】令和6年11月15日(金)9:45-17:00

【場 所】大阪産業創造館3階・4階(大阪市中央区本町1-4-5) \* オンライン開催あり

【参加費】無料

【テ - マ】ものづくり×「いのち輝く未来社会のデザイン」

【カテゴリー】 「カーボンニュートラル」 「情報・DX」 「バイオエコノミー」 「健康・ウェルネス」 「ものづくりカ向上」

【内 容】詳細については以下URLをご参照ください

https://www.sansokan.jp/events/eve\_detail.san?H\_A\_N O=44596



### ● (公社) 関西経済連合会が発行する「経済人」で関西広域産業 共創プラットフォーム事業が紹介されました

(公社) 関西経済連合会発行の会報「経済人」に、全4回シリーズで関西広域産業共創プラットフォーム事業(以下、「PF事業」)の紹介記事が掲載されます。

1回目の9月号は、PF事業の特長に加え、参画する 公設試とその得意分野、および外部連携機関につい ての特集です。

※詳しくは以下をご覧ください。

https://www.kankeiren.or.jp/keizaijin/202 409now.pdf





#### ~事務局便り~

当PF事業は、2年前の2022年11月から開始し、今月末でちょうど丸2年となります。この間、PFの中核である公設試の皆様の多大なご貢献と、コーディネーター各位の献身的なご努力に心から感謝申し上げます。また、ご助言を頂いているアドバイザーの皆様、日頃お世話になっている連携機関の皆様に、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

さて、これまでの活動状況を振り返りますと、各種相談件数は200件にのぼり、リピート的にご利用頂くケースや新製品・新事業開発などの中長期的対応が必要なヘビー級の相談も増えてきております。なかには、1年以上の継続的支援を行って大きな成果につながったケースも出てきました。各連携機関経由での相談案件も増えてきており、当事業への期待と認知度の向上を実感しております。関係者の皆様のご努力により、今月からは「産総研・関経連うめきたサイト」という素晴らしい環境を活用させて頂けることとなりました。このように事業基盤が整いつつある状況ですが、重要なことは初心貫徹です。事業開始以来の「小さな相談、大きなチャンス」という一貫したポリシーを忘れること無く、事務局一同、今後さらに頑張ってまいります。

## 公設試発! News

#### 京都市産技研UCフォーラムを開催します

(地独)京都市産業技術研究所

京都市産業技術研究所のユーザー同士の交流の場づくりを進めるため、標記フォーラムを開催いたします。京都の事業者様や支援機関の皆様の取組をご覧いただき、交流いただけますと幸いです。皆様のご来場をお待ちしております。

日時:令和6年11月5日(火)14:00~20:00 (受付開始13:30、途中入退場·再入場可)

場所:京都リサーチパーク1号館 4階(サイエンスホール他)

(京都市下京区中堂寺南町134)

※交流会は、京都リサーチパーク10号館1階GOCONC

内容: 14:00 知恵創出"目の輝き"認定授与式 15:00 産技研UCユーザーセッション

17:45 交流会

費用:参加費無料・交流会のみ参加費4,000円

※交流会は要事前申し込み



※詳しくは以下をご覧ください。

https://tc-kyoto.or.jp/ucf2024/

## 令和6年度産業技術センター 活動成果発表会のご案内

鳥取県産業技術センター

企業の皆さまに産業技術センターの活動を知っていただき"もっと"活用していただくために、当センターの重点事業や研究成果、人材育成、技術支援の事例を紹介する「活動成果発表会」を開催します。

本年度は、時間に縛られず、何度でも聴講いただけるよう、発表動画を一定期間配信いたします。異分野の技術にも課題解決のヒントが隠されているかもしれません。ご都合が良い時間にご覧ください。

開催期間:令和6年11月25日(月)~12月10日(火)

開催方法: インターネットによる動画配信 費 用:無料(事前申し込み必要) 申込期限:令和6年12月6日(金)

申込方法:次の2つの方法でお申し込み下さい。

※「申込フォーム」

https://tiit.or.jp/3202/5450/r6 houkokukai/r6form/ ※「申込書」は下部のURLよりダウンロードいただき、Eメールもしくは FAXでご提出ください。



※詳しくは以下をご覧ください。

https://tiit.or.jp/3202/5450/r6 houkokukai/

### 地域産業技術セミナーのご案内

徳島県立工業技術センター

未利用熱からの発電、各種表面を機能化する新材料の開発、X線 CTによる材料の3D観察に関する最新の研究を紹介します。

ポスターセッションでは、徳島大学地域協働技術センターの導入機器や、研究室(AWA ラボ)入居企業の研究を紹介します。ぜひご参加ください。

日時: 令和6年11月8日(金) 13:10~17:00

場所:徳島県立工業技術センター 2階 講堂 (徳島市雑賀町西開11-2)

※オンライン参加も可能です

申込:11月7日(木)までに

・現地参加の方: EメールもしくはFAXでお申し込みください。 ・オンライン参加の方: 以下の登録フォームからお申込みください

#### https://i-

tokushima.zoom.us/webinar/register/WN\_Xqsc4mG6T4 iDDpvjGAnIDw

※詳しくは以下をご覧ください。

https://www.itc.pref.tokushima.jp/01\_service/seminar 241108.shtml

# 水を使わない染色の実用化に成功! ~繊維の超臨界流体染色~

滋賀県東北部丁業技術センター

繊維産業における環境負荷を低減する技術として、水を使わずに染色をする「超臨界流体染色」が注目されています。滋賀県東北部工業技術センターおよび(株)フジックスでは、経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業:事業管理機関(公財)滋賀県産業支援ブラザ)を活用し、福井大学の技術協力のもと、超臨界流体染色を実用化すべく取組みを進めてきました。

その結果、困難とされてきた糸染めの技術を実用レベルで確立し、 陸上競技用ユニフォームの染色を実現しました。

#### ●技術の特徴、利点

従来の水を使用した染色では、水に染料を溶かし、繊維に浸透させることで染色します。このため、大量の水および染色後乾燥に要するエネルギーが必要となります。本事業で取組んだ超臨界流体染色では、水の代わりに二酸化炭素を使用します。圧力容器のなかで二酸化炭素を高温・高圧(「超臨界流体」といいます)にして染料を溶解し、この流体を繊維に通過させて染色します。圧力を解放すると乾いた状態で生地が取り出せるため、乾燥工程が省略できエネルギーの削減につながります。



染色した糸



染色装置

※詳しくは以下をご覧ください。 https://www.hik.shiga-

irc.go.jp/info/news/supercritical-fluid-dyeing